

① 次の文章の□に身体の一部の言葉を入れて、一線部分が【】内の意味になるように文章を完成させなさい。

① 返却へんきやくされたテストの点数に□を疑うたった。 【見たことが信じられない様子】

② 格上かくじやうのチームに全く□が立たない。 【とても対抗たいかうできないこと】

③ 休みの日に、隣町となりまで□を伸ばした。 【予定より遠くへ行くこと】

④ 大きな役目を果たし、□の荷にが下りた。 【責任を果たし終えて楽になり、落ち着くこと】

⑤ 友人が家に来るのを□を長くして待っている。 【心待ちにしている様子】

⑥ 毎日、同じことで注意され□が痛いたい。 【自分の欠点をはつきり言われて、つらいこと】

④	①
⑤	②
⑥	③

② 次の慣用句を使い、短文を作りなさい。

① 「ごぼうごぼう抜きぬきにする」

② 「羽を伸ばす」

- ① 次の【文章の一部】は、ゆみさんが遠足から帰ってきて書いて書いた作文です。これを読んで、あと
の問いに答えましょう。

【文章の一部】

今年の遠足は、クリスタルパークに行ってきました。私は、そこには行ったことがなかったのですが、とても楽しかったです。前日の天気予報は、雨だったので、せっかくの遠足が中止になるのではないかと、心配でなかなか眠れませんでした。しかし、朝起きたらきれいな青空が広がっていたので、私はとてもうれしかったです。

- 一 次の①と②は、③ですか。八文字で書きぬきましょう。

- 二 私が、眠れなかった理由を二十五字以内で書きましょう。

- 三 私が、起床したときに、うれしかった理由を、次の言葉につなげて、三十文字以内で書きましょう。

		天							
		気							
		予							
		報							

【POINT】

「理由」を解答する場合は、文末を「…から。」や「…ため。」にすることが大切です。

① 次の①～②は「同訓異字」があります。例にならって、意味の違いが分かるように、別の漢字を使って短文を三つ作りましょう。

(例) うつつ

- ・資料の保管場所を別の場所に移した。
- ・話し合いの様子をビデオに写す。
- ・撮影した動画をスクリーンに映す。

① あつい

•	•	•
---	---	---

② つとめる

•	•	•
---	---	---

② 次の①～②は「同音異義語」があります。意味の違いが分かるように、別の漢字を使って短文を三つ作りましょう。

① しゅうかん

•	•	•
---	---	---

② たいしょう

•	•	•
---	---	---

- ① 次の文中の——線部のカタカナの部分^を正しく漢字で書きましよう。送り仮名が必要な時は、送り仮名も書きましよう。

私は今年の夏休みに、祖父母のいる①ギフ県に家族で旅行に行きます。祖父が七十歳の誕生日をむかえるので、みんなで②イワウ予定です。③ニイガタ県に住んでいるいとも来るので、みんなに会えるのが今からとても楽しみです。

①	②	③
---	---	---

- ② 次の文中に、誤^{あや}って使われている熟語^{じゆく}が三つあります。誤^{あや}っている熟語に直線^{ちゆうせん}を引き、解答欄^{こたえらん}に正しく書き直しましよう。

先日行われた児童会選挙では、私たちの学級の会長候補である千葉さんが高い指示を得て当選しました。となりのクラスの秋田くんが票を集めると予想していたので、以外でした。選挙演説をよく聞いて判断してくれるなど、有権者の選挙への感心が高かったためかも知れません。

①	②	③
---	---	---

- ③ 次の文中の——線部の読み方を書きましよう。

① 手間を省く

--

② 百も承知

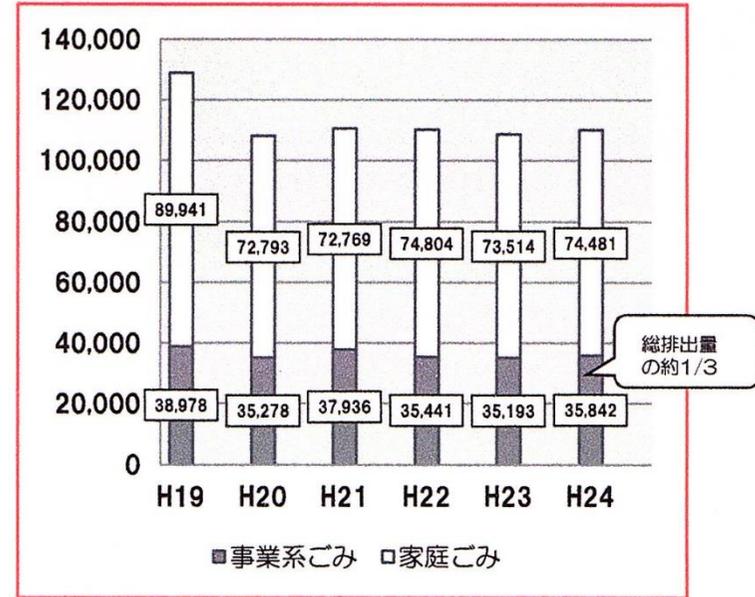
--

③ 勢いをつける

--

資料 1

ごみ排出量の推移



「旭川市環境部クリーンセンター」より

資料 2

リデュース Reduce **ごみを減らそう!** ごみを減らす一番大切な方法は、ごみをださないこと。買う前に必要かどうかもう一度考えよう

買い物はマイバッグで マイししを持参しよう 買べ残しはしない
 過剰な包装は断ろう 替えてしまう前に、何かに使えないかを考えてみませんか? 一つひとつのものをもっと大切にしよう

リユース Reuse **くり返し使おう!**

リサイクルショップを利用しよう リサイクルショップを利用しよう
 詰め替え商品を利用しよう フリーマーケットを利用しよう リターナブル瓶を利用しよう

リサイクル Recycle **再び資源として利用しよう!** ごみの中に資源物はまざっていませんか? 再生するには正しい分別が必要です

正しく分別しよう 資源物は集団回収へ 再生品を使おう 生ごみは堆肥に

「3Rってなんだろう」浜松市より

資料 3

ぼくは、家庭でできる工夫として、食べ残しをしないことを提案します。食事のときに残さないでしっかりと食べれば、生ごみとして出るごみがへります。みなさんも工夫を取り入れ、ごみの減量化につなげましょう。

① 旭川中学校の中村さんは、「総合的な学習の時間」の調べ学習で、「兵村記念館」を訪れました。次の会話の中の「線部分のうち、敬語の使い方が誤っているところが二カ所あります。誤っている記号を答え、正しい敬語に改めなさい。

中村 「こんにちは。旭川中学校の中村です。今日は旭川市の歴史を調べにアいらつしやいました。イよろしくお願ひします。」

職員 「こんにちは。昨日連絡をくれた中村さんですね。今日は、ゆっくり見学してウってください。」

中村 「ありがとうございます。記念館の中で写真をエ撮らせていただいてよろしいですか。」

職員 「一般に展示しているものなら大丈夫です。」

中村 「わかりました。見学後に質問したいことがあるのですが、どなたにカ質問させていただきますとよろしいですか。」

職員 「内容に応じて、専門の職員を紹介します。どのような質問ですか。」

中村 「旭川市の開拓のことについてキ存じ上げている方をお願いします。」

記号		記号	
	正		正

② 次の文章は、旭川中学校の中田さんが職業体験学習のお礼として書いた手紙の一部です。この文章の中には謙譲語を使った方がよい言葉が一つあります。それを一文節で抜き出し「謙譲語」に直しなさい。(※文節とは、意味がこわれない程度に文を細かく区切った言葉のかたまりのことです)

職場の皆さんが丁寧ていねいに教えてくださったおかげで、たくさんのことを学ぶことができました。お忙しい中にも関わらず、貴重な体験きちゆうけんをさせてもらい、ありがとうございます。ございました。

記号		記号	
	正		

1 次の「学校便り」には、漢字の間違いが六カ所あります。間違いを探し、正しい漢字に直さない。

〇〇中学校 学校便り

学び舎

第3号

令和元年 9月30日

素晴らしい歌声 ～ 合唱コンクール

9月27日（金）に、合唱コンクールが行われた。本校の合唱コンクールは毎年、音協設備が素晴らしい「旭川ホール」を貸りて行われる。今年度も、全6クラスの素晴らしい合唱が披露された。

本校では、毎年、指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に、放課後の時間を活用して自主的に練習を重ねている。クラス全員が心を一つにしてつくり上げる合唱は、聴衆の心を揺さぶる。全校生徒、保護者が見守り、地域のお年寄りも招態する。多くの聴衆の心に届けようと、毎日の練習が協力して進められていた。

今年度の最優秀クラスは、3年B組。しかし、どのクラスも拍力のある合唱で、本校の合唱技術の高さが感じられた一日だった。

【正】



【誤】



【正】



【誤】



【正】



【誤】



【正】



【誤】



【正】



【誤】



【正】



【誤】



- 1 次の詩に使われている表現技法を、三つ以上答えなさい。(二回以上でてくるものは、一回
答えればよい)

落葉松 北原白秋

一 からまつ
の林を過ぎて、
からまつを
しみじみと
見き。
からまつは
さびしかり
けり。
たびゆくは
さびしかり
けり。

二 からまつ
の林を出で、
からまつ
の林に入りぬ。
からまつ
の林に入りて、
また細く
道はつづ
けり。

三 からまつ
の林の奥も
わが通る
道はあり
けり。
霧雨の
かかる
道なり。
山風の
かよふ
道なり。

四 からまつ
の林の道は
われのみ
か、ひと
もかよひ
ぬ。
ほそぼそ
と通ふ
道なり。
さびさび
といそ
ぐ道なり。

五 からまつ
の林を
過ぎて、
ゆゑし
らず歩
みひそ
めつ。
からまつ
はさび
しかり
けり、
からまつ
とささ
やきに
けり。

六 からまつ
の林を出
でて、
浅間嶺
にけぶ
り立つ
見つ。
浅間嶺
にけぶ
り立つ
見つ。
からまつ
のまた
そのう
へに。

七 からまつ
の林の
雨は
さびし
けどい
よよし
づけし。
かんこ
鳥鳴
けるの
みなる。
からまつ
の濡る
るのみ
なる。

八 世の中
よ、あ
はれな
りけり。
常な
けどう
れし
かり
けり。
山川に
山が
はの音、
からまつ
にから
まつ
のか
ぜ。

•
•
•

- 2 「直喩」(よじに・みだいに)などを用いて、直接明らかに示してたとえる方法()を使った短文をしくひなさい。

- 1 次の文の―線部分の単語を、自立語か付属語に分類しなさい。

私たちの^ア社会は、^イさまざまな考え^ウをもつ人たちから^エ成り立って^オいます。

自立語

付属語

- 2 次の文の―線部分の単語を、活用する単語か、活用しない単語に分類しなさい。

私たちの^ア社会は、^イさまざまな考え^ウをもつ人たちから^エ成り立って^イます。

活用する

活用しない

- 3 次の―線部分の単語の品詞名を答えなさい。

- ① 太陽が出て、周囲が明るくなった。
 ② 夢をきつと実現してみせる。
 ③ この道をまっすぐ進めば目的地に着く。
 ④ 今度の試合には絶対に勝とう。
 ⑤ そんなに嫌なら、もうやめなさい。
 ⑥ 選手の動きがよくない。

④	①
⑤	②
⑥	③